

# かたち

平成 20 (2008) 年度 もののかたちの意味を考え調査する  
コース (かたちコース) のまとめ

このコースは、日頃目にしているものに対して、「なぜ、そのような形をしているのだろうか?」という疑問を徹底的に調べようというコースです。対象は、人間が意図してその形にした人工物、長い進化の過程を経て形を変えてきた動植物、自然の力によって形成された地形など様々です。下は今年の各人のテーマを表にまとめたものです。

動物	あかり	包丁	舞台
ボールの構造	テニスラケット	門	飛行機の翼
雲	字体と印象	住居	雪の結晶
	椅子	スポーツシューズ	

ここでは、そのうち何人かの研究内容と感想を紹介します。

3年

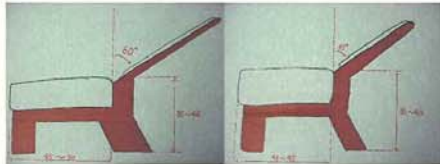
私たちは今回、いすの形と、その用途について調べました。まず、いすは、それを構成しているパーツによって三種類、背もたれ、座面の形によって二種類に分かれます。まず、パーツによって、第一種、二種、三種に分かれます。



第一種 第二種 第三種

第一種は、座面と、脚だけの簡易的ないすで、第二種は、それに、背もたれがついて、第三種はさらに、肘掛がついています。

次に、座面の形や背もたれの角度については、大きく休息いすと、仕事用いすに分かれます。



休息用いすは、背もたれの角度が 45 度から 60 度と大きく、座面も奥行きのある形になっています。



仕事用いすは、逆に角度が少なく、座面の奥行きも余りありません。それぞれ違いはありますが、どちらも使用する、環境、人に合わせた形になっていることがわかりました。

3年

私はMETで雲のかたちについて調べました。

去年もかたちコースで、魚のかたちについて調べたので、今

年も同じように、身近なもののかたちを調べようと思い、雲について調べることにしました。普段何気なく目にしている雲ですが、調べてみるとたくさんの種類があることがわかりました。まず、雲は出来る高さによって上層雲、中層雲、下層雲の3種類に分けられます。その中で、さらにかたちから層雲のなかま、積雲のなかまに分類されます。そして、それぞれの雲に含まれる水や氷の粒の割合から、10種類に分けられるのです。基本的に、晴れた日には高いところに雲があることが多く、逆に曇りや雨の日のときは低いところにかたまっている雲が多いです。私は雲のかたちを調べたり、他の人の発表を見たりして、様々なもののかたちには理由があることがわかりました。これからは身近なものを何気なく見過ごすだけでなく、そのかたちの理由について少し考えてみたいと思います。

3年

文字は私たちの生活には欠かせないコミュニケーションの道具です。しかし、その伝える内容は同じでも様々な「かたち」になっています。私はなぜ文字は形を変えるのか不思議に思ったので、「文字のかたち」について調べました。

私はまず身の回りにある物に書いてある文字を集めて字体や色について考えてみました。たとえば、惣菜を売っている店は青や紫などの、食べ物に少なく、食欲がなくなるような色はあまり使わず、茶色やクリーム色など食べ物によくあり、食欲がわく色を使っていました。また、字体は柔らかく、字の一部を食べ物の絵にしていることが多いことがわかりました。最後に、いろいろな物に載っている字体をパソコンで加工して変え、感じる印象の違いを先生や生徒に聞き、まとめました。その結果「新聞の暗いニュース」の字体を変えたものが一番印象が変わりました。四角っぽかった字を、丸い文字に変えたところ、ふざけているような印象を与えることがわかりました。私は文字のかたちを調べて、普段意識せずに文字を使っていることに気づきました。この学習を通して文字は伝えたい内容によって使う側が字体を変えていることが分かったおかげで、意識して文字を見たり、選んだりできるようになりました。今後、文字だけでなく他のもののかたちも意識してみたいです。

3年

今回は、家のかたちを調べました。家はもともとロシアの北方から広まり、簡素な小屋だった原型も、気候、風土、宗教などによってかたちが変わり、現在に残っています。家のかたちに大きく影響するのは、自然環境だと言われています。草、木などの素材、地理的環境などがあげられます。僕は今まで「どうして、世界には様々なかたちの住居があるのか?」と不思議に思っていました。しかし、調べてみると理由が浮き彫りになってきます。こうして調べることは、意外とおもしろく探求心もわいてきます。METをやったすぐよかったと感じたことは、物事をいろいろな角度から見るようになることと、計画性をもって学習できたことです。この二つは高校生や社会人になっても生きてくるといいます。また、この学習は友だちとコミュニケーションをとって学習を進めることができました。わからないところを友だちに聞いたり、お互い会話する中で信頼性を磨くことができるともよかったと思っています。